

## 2021 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	紺屋あかり
演習テーマ	オセアニアの文化と社会
校外実習	①、実施しない 2、実施 (実施時期: 年 月)
メール・アドレス	konya@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	毎週火曜昼休み
2022 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし
授業概要	オセアニア地域の歴史・文化・社会をめぐる多様性について考える。文化人類学的手法と見方を通じて、次の 4 つのテーマにアプローチする。①歴史 (植民地経験, ポストコロニアル)、②文化 (無形文化と少数言語の継承, オセアニア・アート, 文化復興運動)、③政治 (紛争, 先住民問題) ④経済 (人々の移動, 観光)。(演習 2A/2B 共通)
学習目標	1. オセアニア地域の多様性について学ぶ 2. オセアニアの歴史・文化・社会について知見を深める 3. オセアニアの人々が直面している今日的課題を発見する
授業計画	(2A) 第 1 回 オリエンテーション -授業の進め方と課題について確認する  第 2 回 『ラディカル・オーラルヒストリー』輪読会  第 3 回 『ラディカル・オーラルヒストリー』輪読会  第 4 回 『ラディカル・オーラルヒストリー』輪読会  第 5 回 『ラディカル・オーラルヒストリー』輪読会  第 6 回 『ラディカル・オーラルヒストリー』輪読会  第 7 回 『ラディカル・オーラルヒストリー』輪読会  第 8 回 『大地にしがみつけ』輪読会

第9回 『大地にしがみつけ』 輪読会

第10回 『大地にしがみつけ』 輪読会

第11回 『大地にしがみつけ』 輪読会

第12回 『大地にしがみつけ』 輪読会

第13回 『大地にしがみつけ』 輪読会

第14回 関連映画鑑賞とディスカッション

第15回 まとめ

(2B)

第1回 オリエンテーション

-授業の進め方と課題について確認する。

第2回 『現代オセアニアの<紛争>』 輪読会

第3回 『現代オセアニアの<紛争>』 輪読会

第4回 『現代オセアニアの<紛争>』 輪読会

第5回 『グローバル化する互酬性』 輪読会

第6回 『グローバル化する互酬性』 輪読会

第7回 『グローバル化する互酬性』 輪読会

第8回 『オセアニア・オリエンタリズム』 輪読会

第9回 『オセアニア・オリエンタリズム』 輪読会

第10回 『オセアニア・オリエンタリズム』 輪読会

第11回 We are the Ocean 輪読会

第12回 We are the Ocean 輪読会

第13回 We are the Ocean 輪読会

	<p>第 14 回 関連映画鑑賞とディスカッション</p> <p>第 15 回 まとめ</p>
予習	履修学生は必ず予習と復習を行うこと。
復習	履修学生は必ず予習と復習を行うこと。
授業に関する注意事項	下記の参考書を必ず通読すること。オセアニア地域研究、文化人類学を履修していることが望ましい。
教科書	特に使用しない。初回の授業でリーディングリストを配布する。
参考書	<p>保苺実 2018 『ラディカル・オーラルヒストリー』岩波現代文庫。</p> <p>ハウナニ=ケイ トラスク 2002 『大地にしがみつけーハワイ先住民女性の訴え』春風社。</p> <p>春日直樹（編）1999 『オセアニア・オリエンタリズム』世界思想社。</p> <p>丹羽典生・石森大知（編）2013 『現代オセアニアの〈紛争〉』昭和堂。</p> <p>山本真鳥 2018 『グローバル化する互酬性』弘文堂。</p> <p>Epeli Hau'ofa 2008 <i>We are the Ocean</i>, University of Hawai'i Press.</p>
成績評価の基準	<p>授業への参加（質問、討論、発表など） 50%</p> <p>レポート 50%</p>
関連 URL	
備考	